

2020年度日南町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕地面積に占める令和元年産主食用米面積の割合が63.6%（※前年比+0.2%）で、水稻生産を主体に、地域の特産品であるそば、準高冷地の気象条件を活かしたトマト、ピーマン、白ネギ、ブロッコリー等を組み合わせた複合経営が行われている。

しかし、主食用米の需要が減少してきており、主食用米主体の経営から、非主食用米や需要のある作物への作付転換を推進し、水田作付面積の維持を図っていく必要がある。また、そばについては、湿害に弱く、気象災害を受けやすいため、収量が安定しないことから、気象に左右されない栽培環境への改善が必要となっている。

また、農家の高齢化が進んでおり、農業従事者の減少による不作付地の増加も問題となっていており、農業後継者や担い手の育成が急務となっている。担い手の育成にあたっては、農業委員会による農地利用集積と農地の再配分等を行い、農地中間管理事業を活用した農地の面的集積を支援する。併せて認定農業者制度や農業次世代人材投資資金を活用して担い手農家、新規就農者及び農業後継者を育成する。

2 作物ごとの取組方針等

町内外の1,164.6ha（2020年度見込み）の全水田について、適地適作を基本として、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

（1）主食用米

本町の恵まれた自然条件を活かし、有機質資源にこだわり、有機栽培米、特別栽培米など、環境にやさしい米づくりに努めるとともに、一等米比率の更なる向上と消費者ニーズをつかみ、販路拡大を図る。良質米産地としての需要に合わせた作付に取り組み、生産者所得を最大化するためのブランド化、売れる米の生産安定を目指す。実需者から要望の高い日野特栽米の取組のほか、近年の気象条件に応じた新品種の普及にも取り組む。

（2）非主食用米

ア 飼料用米

多収品種への取組によりJAと連携し、作付面積を確保する。

イ WCS用稲

畜産農家の需要に応じて生産され、取組が定着してきており、実需者との連携を具体的に定めて、安定生産に取り組む。

（3）大豆、飼料作物、麦

大豆については、近年は野菜等の他作物に転じる生産者が増え、栽培面積が減少傾向にあるが、実需に応じた必要面積を維持していく。

飼料作物については、畜産農家からの要望に応じて地区内農家が作付し、耕畜連携による地域内の流通・販売体制の定着を図る。また、二毛作により農地の有効利用と飼料作物の確保を図る。

麦については、現在は積極的に推進を行っていないが、県の栽培試験等の動向を踏まえ、事業に反映させる可能性もある。

(4) そば、なたね

そばの刈り遅れによる収量低下の改善策として、収穫用コンバインの更新を行う。今後も栽培条件の改善を図り、品質・収穫量向上を図る。

なたねについては、大幅な取組拡大は見込みにくいですが、地域の実需者との契約に基づき、引き続き支援する。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

水田転作野菜として導入され、産地として名を広めているトマト、ピーマン、白ネギ、ブロッコリーの4品目を地域振興品目と位置づけ、作付の拡大を推進する。

その他の野菜等（花き・雑穀等を含む）については、「朝どれ野菜」「出荷者協議会」の取組を推進し、販売体制の強化に取り組むとともに、JAアスパル及び日南町農林産物直売所（日南町道の駅等）への直販施設等の販売機能を活かした販売品目と生産者の拡大、日南町農産物のブランド化を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定 (ha)	2020年度の作付目標 (ha)
主食用米	739.1	736.4	740.0
飼料用米	10.3	9.8	9.3
WCS用稲	2.3	2.3	2.2
大豆(黒除く)	5.0	2.4	4.0
飼料作物	13.1	9.6	12.0
そば(基幹作)	99.3	103.9	103.0
なたね(基幹作)	0	0	0.2
そば(二毛作)	2.3	2.6	2.6
なたね(二毛作)	0.3	0.3	0.3
その他地域振興作物	26.3	23.5	26.5
トマト	8.9	8.8	9.5
ピーマン	5.7	5.6	5.5
白ねぎ	8.7	7.1	8.3
ブロッコリー	3.0	2.0	3.2
その他野菜	16.9	14.3	72.0
花き・花木	1.1	1.2	0.6
果樹	2.6	2.6	2.0
雑穀	0.6	0.4	0.5

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度 (実績)	目標値 (2020年度)
				1-1 1-2	トマト、白ねぎ ピーマン、ブロッコリー
2-1 2-2	別紙1に定める 野菜・花き	野菜等の直売所等 利用支援	作付面積	(基幹作) 8.4ha (二毛作) 0.8ha	19.0ha 1.5ha
3-1 3-2	そば	そば栽培条件改善 支援	取組面積 (平均単収)	(基幹作) 55.2ha (二毛作) 0.1ha (34kg/10a)	70.5ha 1.5ha (30kg/10a)

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり